



Doado Pelo
Povo Japonês

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力供与式の実施 (イビラマ・ボランティア消防団協会防火装備整備計画)

12月8日、在クリチバ日本国総領事館は、サンタカタリーナ州イビラマ市内イビラマ・ボランティア消防団協会において、令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力により整備された防火装備の供与式を実施しました。供与式には、濱田総領事、タッシ同消防団協会会長、ケイジア・サンタカタリーナ州知事夫人（同州慈善活動ネットワーク財団会長）、ハウピ・サンタカタリーナ州国際局長官、アンドラーデ・イビラマ市副市長、デソウザポッフォ・イビラマ市長夫人等が出席しました。

濱田総領事からは、本件支援がイビラマ・ボランティア消防団協会の活動能力の向上と消防隊員の安全確保に繋がり、同協会が活動するイビラマ市及びイタジャイ峡谷一帯の地域住民の安全な生活と社会環境の改善に寄与することを期待すると挨拶しました。タッシ同消防団協会会長からは、協会は39年間にわたり多くの市民や企業の支援に支えられつつ、多くのボランティア消防隊員が活動してきた、この間、24時間以上にわたり不眠不休で消火活動である現場が増えており、そうした中で、日本政府及び日本国民から供与頂いた消火装備は大いに助けになるものであり、消防団協会の活動を長く支えてくれるものであると謝辞がありました。また、ケイジア・サンタカタリーナ州知事夫人からは、同州慈善活動ネットワーク財団の要請を在クリチバ総領事館が真摯に受け止め、支援を検討・具体化してくれたことに感謝したい旨、デソウザポッフォ・イビラマ市長夫人からは、日本国政府の支援に深く感謝する、本件支援を仲介してくれたケイジア州知事夫人にも感謝したい旨の挨拶がありました。

本供与は、日本国政府が実施する草の根・人間の安全保障無償資金協力プログラムに基づいたものであり、同プログラムは日本国民が納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生、民生環境及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援すること目的としています。



濱田総領事による挨拶



タッシ消防団協会会長による挨拶



ハウピ国際局長官による挨拶



ケイジア州知事夫人による挨拶



デアンドラーデ・イピラマ市副市長による謝辞



デソウザボッフォ市長夫人による謝辞



記念プレート除幕式



地元メディアによる濱田総領事への取材



供与品



協会役員、ボランティア消防隊員及び供与式出席者

問合せ先：在クリチバ総領事館経済協力班 阿部職員
電話 (41)3322-4919 (2 番) e-mail: instituto.apc2015@gmail.com